



MIFA ゴールドタッチ大会 報告書

2021年5月9日
日本ドッジビー協会

開催要項

大会名： MIFA ゴールドタッチ大会

主催：一般社団法人日本ドッチビー協会

日程：2021年3月27日（土）

場所：MIFA Football Park 豊洲 江東区豊洲 6-1-23

協賛：文化シャッター株式会社

ミカサ株式会社

ワタミ株式会社



競技方法・参加チーム

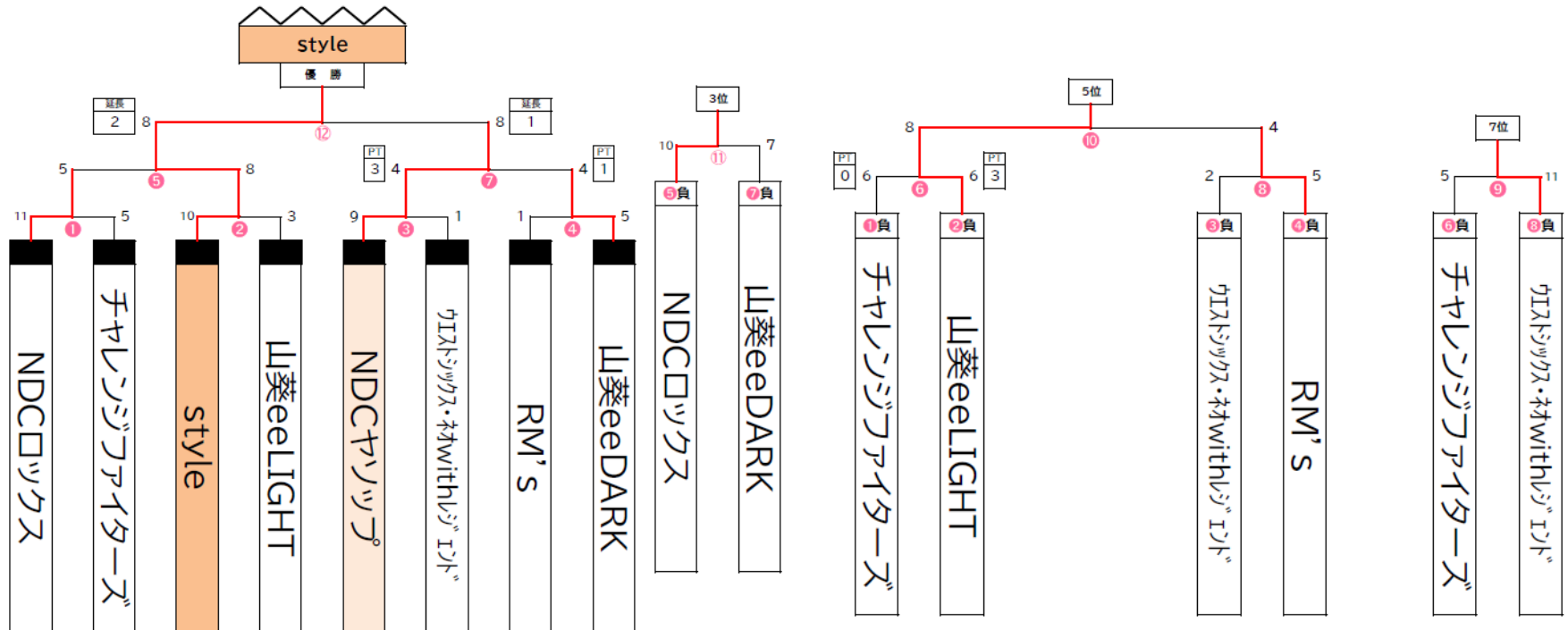
- 対戦形式：トーナメント形式
- 試合人数：5人 対 5人
- 試合時間：前半7分 後半7分 合計14分（ハーフタイム2分）
 ※最終順位決定の対戦 前半9分 後半9分 合計18分（ハーフタイム3分）

参加チーム：合計8チーム

チーム名	構成	チーム名	構成
NDCヤソップ	クラブチーム	チャレンジファイターズ	小学生＋親
NDCボックス	クラブチーム	style	社会人チーム
山葵ee LIGHT	社会人チーム	RM's	社会人チーム
山葵ee DARK	社会人チーム	ウエストシックスネオ withレジエド	小学生＋OBOG

対戦表と、大会結果

順位	チーム名	順位	チーム名
優勝	style	5位	山葵ee LIGHT
準優勝	NDCヤソップ	6位	RM's
3位	NDCロックス	7位	ウエストシックスネオwithレジド
4位	山葵ee DARK	8位	チャレンジファイターズ



表彰・賞品

優勝チーム：style

- 表彰状
- ワタミお食事券500円券人数分
- 文化シャッターロゴ入り スポーツタオル 人数分を贈呈



優勝：style



個人賞：

- ゴール賞
- ブロック賞に、公式ミカサディスクを贈呈



ゴール賞：清水 穰治 選手



ブロック賞：東條 菜月 選手

参加賞：

- ワタミ割引券
- 文化シャッターロゴ入り、蛍光ペン、プロ野球選手名鑑を贈呈



個人成績

各チームにスコアシートの記録をお願いし、個人成績（ゴール数、ブロック数）集計を実施しました。各成績は、以下の通りです。

順位（ゴール数）	選手名（チーム名）
第1位 12ゴール	清水 穰治 選手（style）
第2位 10ゴール	三浦 奏 選手（山葵eeDARK） 志田原 光 選手（NDCヤソップ） アンドレ シュツツ 選手（山葵ee LIGHT）
第5位 8ゴール	佐野 良太 選手（NDCロックス） 乙川 統央 選手（style） 中川 裕也 選手（NDCヤソップ） 國安 大樹 選手（NDCヤソップ） 中村 大蔵 選手（ウエストシックス・ネオ withレジェンド） 若林 賢 選手（山葵eeLIGHT）

順位（ブロック数）	選手名（チーム名）
第1位 15ブロック	東條 菜月 選手（NDCロックス）
第2位 14ブロック	松島 民世 選手（NDCヤソップ）
第3位 12ブロック	愛甲 隆行 選手（チャレンジファイターズ）
第4位 11ブロック	山川 秀孝 選手（チャレンジファイターズ）
第5位 9ブロック	三浦 奏 選手（山葵） 高橋 天翔 選手（NDCヤソップ） 稲葉 俊 選手（チャレンジファイターズ）

新型コロナウイルス対策

COVID-19拡大防止対応大会として、主に以下の対策を実施しました。

- 通常屋内で実施しているゴールドタッチを屋外フットサルコートで開催。
- 大会の事前
 - 1週間前から日次検温チェックリスト、連絡先リストの作成
- 大会の当日
 - 検温、手指消毒
 - 主審、副審、スタッフのマスク着用
 - プレー中以外の、選手マスク着用
 - ドリンク、マスクの共用禁止
 - 開会式、閉会式、試合前整列の省略
 - 選手以外の観戦来場を禁止

今後も感染状況や各種ガイドラインを参考に、安全な運営に努めてまいります。



講評 (1/2)

コロナ拡大防止対策と大会開催の両立を目指し、屋外フットサルコートである「Football Park MIFA豊洲」にてゴールドタッチ大会を開催しました。

今回は8チームと多くのチームが参加しましたが、2コートを使用し、トーナメント形式とすることで、短時間でかつ密を避けた運営が出来ました。

参加者の皆様には検温・消毒などの感染対策実施、観戦者の来場を禁止させていただくなど様々な制約にもご協力いただきました。また会場となったMIFAのスタッフの皆様、そして各協力企業の皆様にもご理解ご協力いただき無事に終了できました。心より御礼申し上げます。



講評 (2/2)

決勝戦は、昨年11月29日に開催されたゴールドタッチ大会の優勝チームstyleと、準優勝チームNDCヤソップの対戦となりました。

前半styleが4-1までリードを拡げますが、NDCヤソップが1点を取り戻し、4-2で前半を終了。後半徐々にstyleが7-4まで点差を拡げるものの、NDCヤソップがサイド展開を上手に使ったオフエンスで3連取。試合時間残り1分で行い8-8に追いつき後半終了。3分間の延長戦に入ります。

延長戦では持ち前の攻撃力を生かしstyleが早々に2点をあげます。NDCヤソップが1点を返すも10-9の1点差でstyleが優勝しました。手に汗握る大接戦で、技術力の高いパスワークやシュートが随所にみられる、とても見応えのある試合でした。

ゴールドタッチは、選手もスタッフも少人数で運営ができ、屋外でも実施可能な競技です。経験を積み重ね、コロナ禍でのスポーツのあり方を皆様と一緒に模索していきたいと思っております。今後とも、ご協力よろしくお願いいたします。



